

農林中央金庫で「BankVision on Azure」が稼働開始

～全国金融機関初のパブリッククラウド環境でのフルバンキングシステム稼働～

BIPROGY が提供するパブリッククラウドを活用したフルバンキングシステム「BankVision on Azure」を農林中央金庫が採用し、同サービスを利用した基幹系システムの稼働を 2024 年 7 月 16 日から開始しました。パブリッククラウド環境でのフルバンキングシステム稼働は、全国金融機関では初めてとなります。

農林中央金庫は、2020 年 9 月から Windows 上で稼働する「BankVision」を利用した基幹系システムの稼働を開始し、農林水産業の持続的な発展と市場環境の変化に柔軟に対応しながらさらなる顧客ニーズに応えつつ、システムコストの削減を実現するため、「BankVision on Azure」によるクラウド化を実現しました。

【農林中央金庫について】

農林中央金庫は、農林水産業の持続的な発展の実現のため、多様な IT デジタルを活用した新たな価値創造に向けて挑戦を続けています。

また、IT デジタルの急速な発展や消費者の購買行動変化など非連続な環境変化への対応のため、IT デジタル・データ利活用の浸透を通じた新たなビジネス価値の創造と生産性向上、変化にチャレンジする柔軟で強靱な組織の実現にも積極的に取り組んでいます。

【農林中央金庫での「BankVision on Azure」稼働について】

農林中央金庫は 2020 年 9 月から基幹系システムとして、Windows 上で稼働するオープン勘定系システム「BankVision」を採用しています。

今般「BankVision」が持つ「安定性」・「高信頼性」の特徴はそのままに、高い柔軟性、拡張性およびコスト優位性実現のため、マイクロソフトが提供するパブリッククラウドプラットフォームである Microsoft Azure へ移行し、2024 年 7 月 16 日から稼働を開始しました。また、「BankVision」の Microsoft Azure への移行に合わせ、営業店システム（BANK_FIT-NE）やサービスゲートウェイ（内部向け API 公開基盤）、外為システムなどの基幹系周辺システムについても Microsoft Azure への移行を実現し、クラウド利用によるメリットの最大化を図っています。

【「BankVision on Azure」について】

世界初の Windows 上で稼働するオープン勘定系システムとして、2007 年 5 月に「BankVision」をリリース以来、2020 年のフル仮想化基盤での稼働を経て、2021 年に国内初のパブリッククラウドでのフルバンキングシステム「BankVision on Azure」としての稼働を実現しました。

1. パブリッククラウドである Azure を稼働基盤として採用

セキュリティー・拡張性の向上に加え、基盤更改のコスト抑制を実現。ミッションクリティカルな領域において安定稼働をし続けながら、最新テクノロジーをキャッチアップし、着実に進化し続けています。

2. 柔軟な基盤リソース・料金体系による開発のスピード・自由度向上

基盤リソースの増強においてハードウェアの調達は不要であり、業務量の増加や業務範囲拡張が求められる局面においても柔軟に対応でき、利用料金も従量課金制であることから、リソース増減において効率的な投資対効果を生み出すことができます。

また、スピード感・自由度のある環境構築・開発の実施が可能となるため、競争力強化を目的とした迅速な顧客サービスを展開できます。

3. 多彩なサービスとのシームレスな接続を実現

オープン API プラットフォーム「Resonatex」との連携により、セキュアな環境下でのオープン API 公開を、低コストかつスピーディーに実現することが可能となり、異業種および Fintech 企業などと API 接続することで先進的なサービスを実現し、金融業の高度化を図ることができません。

4. 安定したシステム運営を支援する多彩なサービスの提供

お客さまの IT ガバナンスを保ちつつ長期的に利用していくために、システムの機能だけでなく、確実に導入や移行するためのプロジェクト運営や、内製化に向けた要員教育、運用フェーズでの安定したサービス、さらに制度改正に対するエンハンスサービスを提供します。

【今後の取り組み】

BIPROGY は、マイナンバーなど法改正に係る安定的なサービス提供に向けた対応と併せて、サイバーセキュリティや BCP 対策の強化、API のラインアップ拡充など「BankVision」の高度化や機能拡張を進め、お客さまの「攻め」と「守り」の IT 戦略実現を支援します。これにより、農林中央金庫が目指す農林水産業の発展、環境変化への対応に向けて伴走します。

以上

■稼働実績

「BankVision」および「BankVision on Azure」は、他ベンダーの勘定系システムからの更改も含めて 11 金融機関で安定稼働し、銀行基幹システムとして高い安全性、堅牢性を確保しています。

1. 2007 年 5 月稼働 百五銀行（三重県津市）
2. 2010 年 1 月稼働 筑邦銀行（福岡県久留米市）
3. 2010 年 5 月稼働 紀陽銀行（和歌山県和歌山市）
⇒2022 年 10 月 BankVision on Azure へ移行
4. 2010 年 5 月稼働 佐賀銀行（佐賀県佐賀市）
5. 2011 年 1 月稼働 山梨中央銀行（山梨県甲府市）
⇒2023 年 5 月 BankVision on Azure へ移行
6. 2011 年 5 月稼働 鹿児島銀行（鹿児島県鹿児島市）
7. 2014 年 1 月稼働 スルガ銀行（静岡県沼津市）
8. 2015 年 1 月稼働 北國銀行（石川県金沢市）
⇒2021 年 5 月 BankVision on Azure へ移行
9. 2017 年 5 月稼働 大垣共立銀行（岐阜県大垣市）
10. 2020 年 9 月稼働 農林中央金庫（東京都千代田区）
⇒2024 年 7 月 BankVision on Azure へ移行
11. 2024 年 5 月稼働 西京銀行（山口県周南市）※BankVision on Azure 上で稼働

■関連リンク：

勘定系システム「BankVision」

<https://www.biprogy.com/solution/service/bankvision.html>

※BankVision、BANK_FIT-NE、Resonatex は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。